



食品ロス削減の周知

- 大村市では、第4次大村市食育推進計画(令和4年度～令和8年度)において、市民一人ひとりによる健全な食生活の実践に結び付く取組を進めている。その中でも環境や食文化を意識した持続可能な社会の実現のため、近年の食を取り巻く環境の変化により生じた、食品ロスの削減に向けた取組を重点課題の一つととらえている。
- 食品ロス削減のために何らかの行動をしている市民の割合を増やしていくため、広く市民への啓発を行うべく、ポスターの作製・配布、食育推進リーダー向けの講座の実施、コミュニティFMでの情報発信を行った。

【取組の内容】

- 食品ロス削減啓発ポスターの作成
 - ・ 掲載内容:食品ロスとは、
おいしく残さず食べきる工夫
(外食時&テイクアウト時)
 - ・ 作成枚数: 400枚
 - ・ 配布先:町内会・商工会議所・医療機関・
保育所・幼稚園・市関係施設・学校関係
- 食生活改善推進員を対象とした講座の実施
(養成講座・実践講座)
 - ・ 家庭でできる食品ロス講座
 - ・ 調理実習で捨てる食材で1品
(だしがらの佃煮)
- コミュニティFMでの食品ロスの情報発信
 - ・ 長崎県の令和元年度の食品ロスについて
 - ・ 長崎県食品ロス発生量を10%削減(令和7年)
 - ・ フードバンク団体の寄付の紹介



煮干しとだし昆布の
だしがらの佃煮

【取組の成果】

- 食品ロス削減の啓発ポスターを施設や関係機関で掲示したことにより、ポスターを目にした者の食品ロス削減実践のきっかけの機会を提供できた。
- 地域で食育の情報発信を行う食のボランティア(食生活改善推進員)を対象とした食品ロスをテーマにした講座を開催したことにより地域への食品ロスの周知を広めるきっかけ作りに繋がった。
- 10月16日の世界食料デーにコミュニティFMで、食品ロスの現状等について情報発信を行うことにより、食品ロス削減について広く周知・啓発することができた。

【事業目標】

- 食品ロス削減のために何らかの行動をしている市民の割合
現状値 45.4%
→取組実施後 75.8%
- 産地(大村産)や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合
現状値 23.1%
→取組実施後 44.6%

現状値 令和2年度食育市民アンケート結果

実績値 令和4年度食生活改善推進協議会の事業実施後のアンケート調査より

